

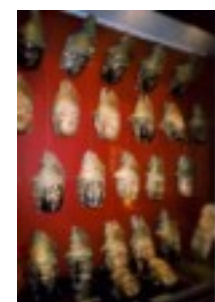
熊野山 石手寺

安産 子宝石



石を持って帰り子宝に恵まれたら二個にして返します

宝物殿 県重文菩薩童子面



四国遍路創始衛門三郎 再生玉の石



特別展示 印度最高作家三人の石仏

ゴータマブツダの誕生から入滅までを縦横2メートルの10体で表現

ブツダ再来 仏の本懐を観る

殺し合い奪い合をなくし

人として生きる

煩惱の矢を抜く時

全てが平安となり

取ることもなく

棄てることもない

到る所に平等平静を見る



日本一の 日中友好 弘法大師



山四国

お山四国88ヶ所を49日迄に白木のお位牌と共に参

奥の院 五百羅漢



木造の500体

マントラ洞窟 弘法大師修行場・88ヶ所・金剛

界曼荼羅 抜けると 奥の院五百羅漢



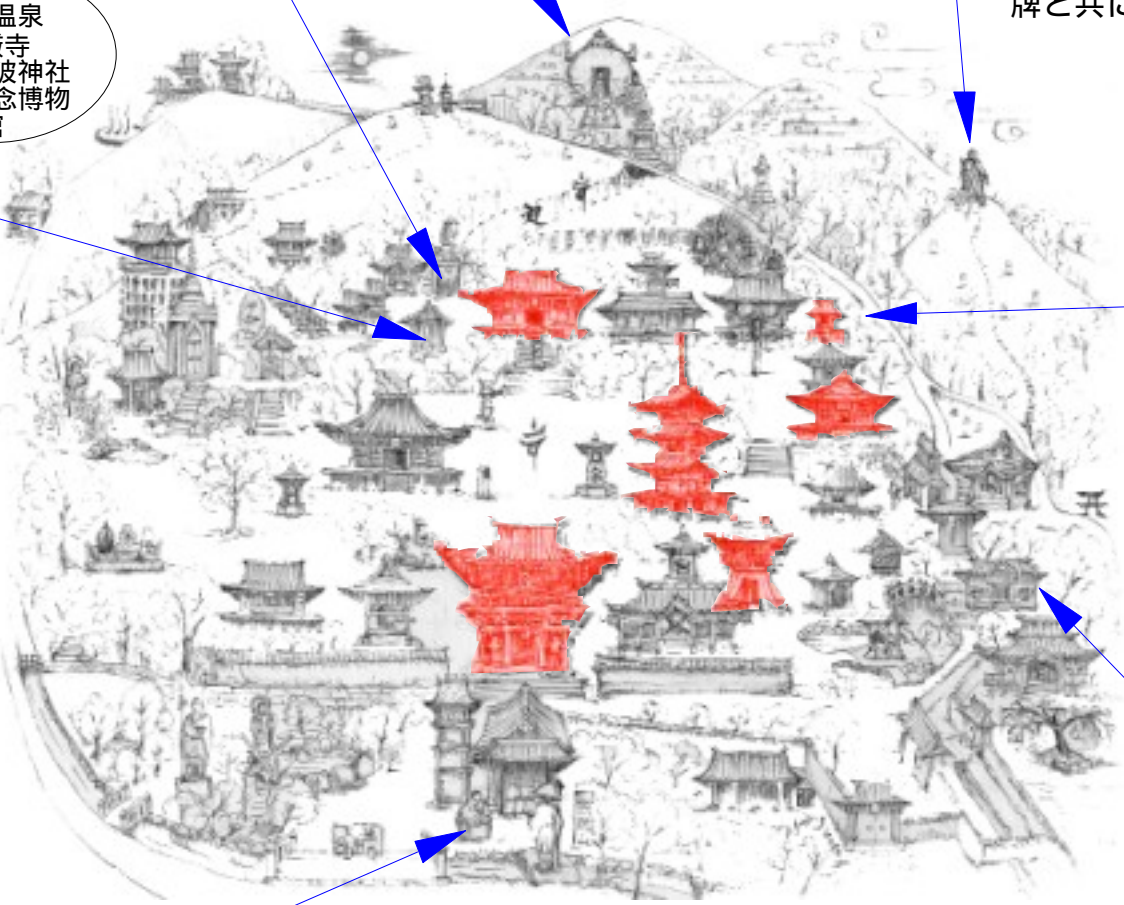
道後温泉 宝蔵寺 伊佐爾波神社 子規記念博物館

七転八起 再生石



七転八福神

格差の広がる困難な時代となりましたこんな時代こそ「皆一緒」の平等心と意思力で頑張りたいものです 石を持って帰り元気がなったら八個にして返します



句碑に「鎌倉の昔を今に寺の鐘」と詠まれ国宝仁王門をはじめ三重塔など5点の重文(赤表示)によって五智五仏の真言宗曼荼羅世界を表す



四国遍路開創 衛門三郎縁起

昔伊予の国浮八郡在原の郷に、「衛門三郎」という非常に欲の深い長者がいました。或る日門前に一人のみそほらしい托鉢の僧が訪れましたが衛門三郎はこの僧が弘法大師であることも知らず僧のもつていた托鉢をとりあげてなげつけてしまいました。ところがその後八人の男の子が悉く死んでしまいました。これには強欲非情な衛門三郎も恐ろしくなり邪見をひるがえし家をすて身を忘れて四国巡拝に旅立ちました。然しこの四国をまわっても大師にお会いするくら目天長八年阿波の国焼山寺の麓で病に倒れ明日を知らぬ身となりました。その時突然弘法大師が枕元に現れ彼の手に一寸八分の石に彫り授けました。衛門三郎も安心して息を引き取りました。それより幾許の年月をへてこの地方豪族河野息利に男子が生まれましたがその子は幾日にもなるのに右の手は握ったまま開きませんでした。この寺に願をかけましたところ手の中から「衛門三郎」と書かれた石がでてきました。そこでこの石を当山に納めましたのでその後寺号を安養寺と改めた。衛門三郎玉の石は大講堂の正面に安置してあります。

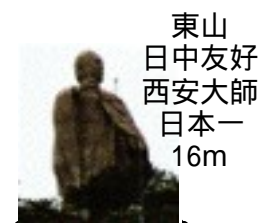
諸堂	本堂 (重文)	仁王門 (国宝)	弘法大師 お茶堂	梵鐘(県重文)	鐘楼(重文)	護摩堂 (重文)	詞梨帝母 天堂 (重文)	大師堂	五輪塔	三重塔	宝物館	渡らざる橋と 衛門三郎玉の石
本堂は単層入母屋作りで鎌倉期の建造物です。後方の山は愛宕山といひ四国霊場八十八ヶ所が祀られています。	今から六七〇年前に建てられたもので雄功豪拔な鎌倉期の特徴を發揮しており楼門の蛙股は湛慶の作と云われその繊巧秀美なることは当代の傑作といひまた左右の仁王像は雲慶の作といわれています。	石手のお大師さんと云われ地方信仰の中心として重要な弘法大師の尊像を安置しているのがお茶堂です。	この茶堂大師の信者はその数、数百万に及び燈明並び線香の煙は四季を通じて絶ゆることなくまた毎月二回の茶湯参詣日には特に多くの参詣者があります。	鎌倉時代建長三年の鑄造になるものです。	この鐘楼は元弘三年に建てられたもので四方に腰袴がついており全国でも珍しいものです。	天竺と和洋折衷の建造物の多い中でこの堂宇のみが純粋な和様建築である点に特色があり他の建造物と異なっている点はたる	この堂は詞梨帝母天(鬼子母神)をお祀りしており子宝に恵まれない方々のお詣りがあとをたちません。この堂宇中央蛙股は非常に繊細な作りで美しくこの様に小さな建造物に拘わらずうじきとこのや釘かくしなど特徴あるものとなっています。	この大師堂は以前は夏目漱石や正岡子規等多くの名士が落書きしてあり一名落書堂とも云われておりましたが、戦時中壁を塗り替えたため消失したのは惜しまれています。	鎌倉時代源頼朝朝臣の領徳碑として建てられたものです。(重文) 高さ二十五m重文です。	宝物館には寺宝のうち重要なもの千百有余点の中から三百有余点を陳列しておりいづれも逸品ばかりで石手寺開基以来の歴史を知る上に貴重なものばかりです。行基の御作の古面二十五面のうち二面は宝物中最も古く弘法大師のご親筆及びご請来の名石剣、錫杖、鈴、雪舟の仏画等は逸品中の逸品です。また、道後で生誕されました一遍上人の親筆で六字名号があり湯止札、古文書等はその昔石手寺一山僧侶のその当時の社会的地位等を示すものとして興味深いものがあります。その他鎌倉、足利時代のもので仏画等貴重品も多数陳列してあります。	伝説的なものの中には昔石手川上流の湧ヶ淵に大蛇が棲み里人に害を与えますので当山の権現に祈願しましたところ権現堂より宝剣が飛来して大蛇を刺したと云われるその時の宝剣と大蛇の骨が宝物として伝えられています。	弘法大師が渡られたといひので、その後渡つてはいけな言われま。傍らには衛門三郎の改心した像が座り、弘法大師は「よくぞ改心して修行された、望みを言ってみなさい」といひと衛門三郎は「生まれ変わって人々の救済をしたい」と語つたといひます。

道後遍路道經由
伊佐爾波神社
宝蔵寺
道後温泉
子規記念博物館

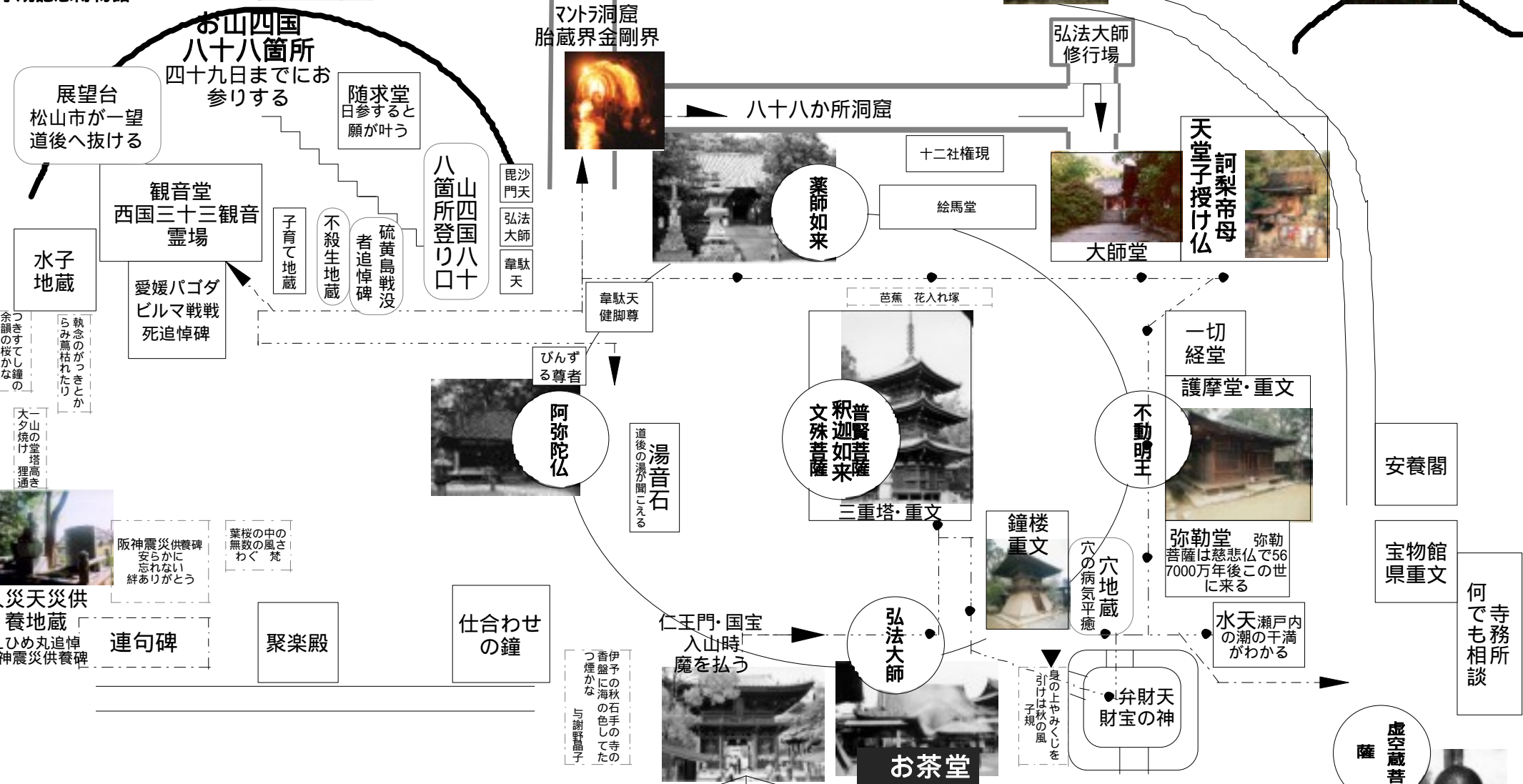


ミナ
五百羅漢堂
奥の院

元気のでる左回り
布施心の右回り



東山
日中友好
西安大師
日本一
16m



諸堂参拝	お山四国参り	祈願大師	再生玉の石	子授け安産石	石手寺御利益
	展望台 松山市が一望 道後へ抜ける	随求堂 日参すると 願が叶う	八箇所登り口	鬼子母神の石を持ち帰ると子宝に恵まれる。新しい石を添えて返す。初参り七五三をしたい。	
	水子地蔵	観音堂 西国三十三観音 霊場	毘沙門 弘法大師 韋駄天	不屈の精神で拝めば必ず困難を福に変えて起死回生する。	
	愛媛パゴダ ビルマ戦死追悼碑	子育て地蔵 不殺生地蔵 者追悼碑 硫黄島戦没 者追悼碑	曼陀羅洞窟 胎蔵界金剛界	弘法大師は家内安全を中心に所願成就。祈願し弘法大師に誓約する。	
	人災天災供養地蔵 えひめ丸追悼 阪神震災供養碑	連句碑	八十八か所洞窟	家族が亡くなって四十九日まで位牌をもって参りすると成仏する	

手洗

句碑 **み仏の瞳は慈悲に輝きて悩みと罪の子らに微笑む** 俊章方丈

地蔵院(別寺)

句碑 南無大師石手の寺よ福の花 子規

句碑 鎌倉の昔を今に寺の鐘 前田五健

不動石

虚空蔵菩薩

石手寺霊場めぐり

正岡子規は夏目漱石とともに良く来たそうで俳句に「石手寺や何堂彼堂弥勒堂」と詠んだ様に、境内は三重塔を中心にあまたの堂宇が建ち誇ります。

真言宗曼荼羅形式であります。前田五健の「鎌倉の昔を今に寺の鐘」と歌われたように鎌倉期の国宝重文が継承され、仏さまの世界を現出しています。

下図のように、三重塔のお釈迦さんを中心に仏さまが安置されます。これは私たちの清浄心を示します。その仏さま一つ一つを礼拝していくことによって私たちの心は清らかな充実感に満ち、やさしい慈悲心に満ちていきます。

左回り清浄心。お茶堂で線香を二束用意し弘法大師 釈迦如来 不動明王 薬師如来 阿弥陀仏 弘法大師の順に廻ると心は清められ、精気に満ちて悟りの根源を得ます。

右回り慈悲心。お茶堂で線香を二束用意し弘法大師 阿弥陀仏 薬師如来 不動明王 弘法大師と廻ると慈悲心に満ち世間布施行の基。

八十八箇所参り。洞窟四十九院、胎蔵界金剛界修行。石手寺をお参りすると、よるずの仏さまをお参りすることが出来ます。その御利益は一番は、自分自身の心を清らかにすることです。

その心によって、私たちはいろいろな宝物を発見しつくり出していきます。

石手寺七不思議

- 1 渡らずの橋 弘法大師お道開きの橋。この橋を歩くと足が腐るといふ。
- 2 衛門三郎玉の石。3 蛇骨湧きが淵の大蛇を石手寺の僧が退治したといふ。(宝物館) 4 水瓶 水天堂の瓶の水で瀬戸内の干満がわかる。
- 5 訶梨帝母天堂子授け。6 湯音石。7 不動石 お不動さんが見える。
- 8 香煙 悪い所が治る。
- 9 仁王門大草鞋 足腰の病気が治る。健康。

ゆったりとお参りください。お参りの後に自然と心が和み、本来の優しく、あたたかい心が全身に蘇ってきます。

こころ静かに手を合わせ、仏さまといっしょにお参りください。

